

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 越前市 (都道府県: 福井県)
本事業の担当部局名 市民福祉部 健康増進課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業			
区分	一般メニュー			
関連事業メニュー	3.1.7 その他、各地域において結婚、妊娠・出産、子育てに温かい機運を醸成する取組			
個別事業名	命のぬくもり体験学習支援事業		新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度 平成 28 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	500,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 本市では、「第2期総合戦略～女性が輝くモノづくりのまち～子育て・教育環境日本一～」に基づき人口減少対策に取り組んでいる。その中・長期的取組として、UIJターン者の増加対策や若い世代の結婚の希望を実現し、合計特殊出生率を向上させる対策を展開しており、その一環として若者の結婚につながるような取組(出会いの場の創出ほか)を行っている。 新たに「結婚新生活支援事業」を行い、結婚に伴う経済的負担の軽減を図ることで、婚姻件数の増加や少子化対策の更なる進展を目指す。 また、人口減少に歯止めをかけ、持続可能な地域づくりを実現するため、越前市では総合戦略を令和元年度に見直し、その中で「Ⅲ若い世代の結婚の希望の実現」、「Ⅳ子ども・子育て支援と教育の充実」の施策を掲げている。「赤ちゃん抱っこ体験」は、乳児との触れ合うことでいのちの大切さを感じ、子育てなどに対する理解を深める活動のひとつとして、位置づけられている。また、「結婚新生活支援事業」は、結婚や出産・育児、住宅の資金など、出費がかさむ新婚・子育て世帯に対して、定住化を促進する観点からも、住宅取得にかかる費用について支援することとしている。 【実情】 男性・女性ともに有配偶率は年々低下している。また、この30年の間に、合計特殊出生率が下がってきている。結婚している女性の出生数(有配偶出生率)は、あまり変化していないが、結婚している割合(有配偶率)が年々低下していることが主な原因のひとつと考える。 男性・女性ともに非婚・晩婚化の原因は、未婚者の結婚希望率が低下していることに加え、本市の若い世代の人口が減少し、出会いや結婚の機会を減らしている可能性が考えられる。また本市の出生数は長期的に減少傾向にあり、核家族化も進み、共働き世帯も増えている。 【課題】 核家族化や地域とのつながりの希薄化によって、若者は乳幼児と接する機会が少なく、子どもを産み育てることの具体的なイメージができない。そのため、人との関わりや共感を高め、次世代の親を育成するための能力を養う一環として、「赤ちゃん抱っこ体験」を実施しているが、近年コロナ禍で直接赤ちゃんとふれあう体験ができずにいた。また、結婚新生活支援事業において、住宅の賃借費用を支援しているが、子育て前の転出が見込まれ、本市の少子化の改善及び定住化の促進に直接的につながっていない。			
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 越前市の総合戦略の5つの基本目標のうち、赤ちゃん抱っこ体験事業及び結婚新生活支援事業に係るものを下記に掲載 【基本目標Ⅲ】若い世代の結婚の希望の実現 【数値目標】婚姻数320件 政策(2)働く世代の経済的安定への支援 施策②新婚・子育て世帯への支援 政策(3)交流・出会いの場の創出や結婚意識の醸成 施策②家庭を持ちたいと思う意識の醸成 【基本目標Ⅳ】子ども・子育て支援と教育の充実 【数値目標】保育園等の待機児童 0人 0歳児の人口 600人 政策(1)妊娠・出産・子育て・教育支援の充実 施策①妊娠・出産・子育ての支援			
	<本個別事業の位置付け> 将来的に、家庭を持ち子どもを育てていくことになる世代の中学生が、命の尊さ・親になることの責任などを「命のぬくもり体験学習(赤ちゃん抱っこ体験、妊婦体験等)」を通して学ぶ中で、中学生がより理解を深められるよう、事業実施がより円滑に行えるよう赤ちゃん抱っこ隊が支援する事業として位置づけられている。 (過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 令和5年度は4校で赤ちゃんとのふれあい体験を再開した。赤ちゃんの参加人数がコロナ禍あけで少なかったため、ふれあい体験としては十分とは言えなかった。赤ちゃんの募集を周知していくために、早期にチラシを作成、配布していく。また、赤ちゃんの参加が増えることを見越して、応募しやすいフォーム内容を検討する。			

個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定																																													
	1	赤ちゃん抱っこ体験(ふれあい体験)の支援	中学校が開催する赤ちゃん抱っこ体験の実施を支援する。関係者間が次年度以降も継続的に協働して実施できるよう連携・協力・調整を行う。 <u>赤ちゃんの募集を周知していくために、早期にチラシを作成、配布していく。また、赤ちゃんの参加が増えることを見越して、応募しやすいフォーム内容を検討する。</u> ・各関係機関(中学校、教育振興課、健康増進課、保育園・認定こども園・幼稚園、子育て支援センター、公民館など)への事業周知(赤ちゃん募集)の協力依頼 ・参加者からの申込受付、参加者の名簿取りまとめと各中学校との連絡 ・各学校やPTAスタッフとの体験学習事前打ち合わせ ・体験当日の参加スタッフ(PTA、公民館主事など)への教育・運営協力 ・各中学校との打ち合わせや連絡調整 ・抱っこ体験に関する問い合わせ対応 予定開催校数:8校、予定参加人数(参加予定生徒数):671名	○	○																																													
	2	総合学習への協力	中学校が開催する命のぬくもり体験学習の実施を支援する。 ・授業にゲストティーチャーとして参加、作成した動画を活用して視覚的に乳児の様子を伝える ・乳児期の発達に関して授業で使える資料(パワーポイント等)の作成 ・妊婦模擬体験、赤ちゃん人形の抱っこ体験への協力 ・各中学校との打ち合わせ(ねらいを共有し、達成できるよう構成を行う) ・事前、事後の打ち合わせに参加し助言を行う 予定開催校数:8校、予定参加人数17名(委託事業者:10名、市健康増進課:5名、市教育委員会:2名)		○																																													
	※(注)3【次年度以降に向けた事業の方向性】 次年度以降も積極的な継続実施を図る。赤ちゃん抱っこ体験に至るまでに、多くの関係機関が関与し、数か月前からの段取りや連絡・事務作業が多く、学校や担当教員の負担感が高い。その一方、多様な生き方の中で命の大切さを理解する心の教育として、関係者や参加者からも事業の継続を望む声が多いことから、この事業を引き続き継続し地域全体の育児力をより高めていきたいと考えている。この事業を継続していくためには、名簿管理や連絡調整など事務量の負担を軽減していく必要があり、また、次年度はさらに赤ちゃんの募集人数を増やし事業内容を充実していきたいと考えている。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】																																																	
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通		<table><tr><th colspan="2">KPI項目</th><th>単位</th><th>目標値</th><th>現状値</th></tr><tr><td colspan="2">中学校での命のぬくもり体験学習(赤ちゃん抱っこ体験)の実施率</td><td>%</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td colspan="2">婚姻件数</td><td>件</td><td>320(令和6年度)</td><td>295(令和4年度)</td></tr><tr><td colspan="2">0歳児の人口</td><td>人</td><td>600(令和6年度末)</td><td>553(令和4年度)</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				KPI項目		単位	目標値	現状値	中学校での命のぬくもり体験学習(赤ちゃん抱っこ体験)の実施率		%	100	100	婚姻件数		件	320(令和6年度)	295(令和4年度)	0歳児の人口		人	600(令和6年度末)	553(令和4年度)																									
KPI項目		単位	目標値	現状値																																														
中学校での命のぬくもり体験学習(赤ちゃん抱っこ体験)の実施率		%	100	100																																														
婚姻件数		件	320(令和6年度)	295(令和4年度)																																														
0歳児の人口		人	600(令和6年度末)	553(令和4年度)																																														
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通		<table><tr><th>項目</th><th>単位</th><th colspan="2">直近の実績</th></tr><tr><td>合計特殊出生率</td><td></td><td colspan="2">1.61(H25-29人口動態保健所・市町村別統計)</td></tr><tr><td>婚姻件数</td><td>件</td><td colspan="2">295(令和4年度)</td></tr><tr><td>婚姻率</td><td></td><td colspan="2">4.4(H25-29人口動態保健所・市町村別統計)</td></tr></table>				項目	単位	直近の実績		合計特殊出生率		1.61(H25-29人口動態保健所・市町村別統計)		婚姻件数	件	295(令和4年度)		婚姻率		4.4(H25-29人口動態保健所・市町村別統計)																														
項目	単位	直近の実績																																																
合計特殊出生率		1.61(H25-29人口動態保健所・市町村別統計)																																																
婚姻件数	件	295(令和4年度)																																																
婚姻率		4.4(H25-29人口動態保健所・市町村別統計)																																																
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6		<table><tr><th colspan="2">KPI項目</th><th>単位</th><th>目標値</th><th>現状値</th></tr><tr><td>事業内容番号</td><td>項目</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>(アウトプット)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>赤ちゃん抱っこ体験(ふれあい体験)の参加人数</td><td>人</td><td>671(R7.1)</td><td>279(R6.1)</td></tr><tr><td>2</td><td>中学校の総合学習へのゲストティーチャーとしての参加率(全8校中8校)</td><td>%</td><td>100(R7.1)</td><td>87.5(R6.1)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>(アウトカム)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>実際に乳児と触れ合って乳児に親しみを感じた者の割合(満足度)</td><td>%</td><td>100(R7.1)</td><td>100(R6.1)</td></tr><tr><td>1</td><td>自分が親になったとき、赤ちゃんを連れて赤ちゃん抱っこ体験に参加したいと思った割合(満足度)</td><td>%</td><td>80(R7.1)</td><td>未集計</td></tr></table>				KPI項目		単位	目標値	現状値	事業内容番号	項目					(アウトプット)				1	赤ちゃん抱っこ体験(ふれあい体験)の参加人数	人	671(R7.1)	279(R6.1)	2	中学校の総合学習へのゲストティーチャーとしての参加率(全8校中8校)	%	100(R7.1)	87.5(R6.1)							(アウトカム)				1	実際に乳児と触れ合って乳児に親しみを感じた者の割合(満足度)	%	100(R7.1)	100(R6.1)	1	自分が親になったとき、赤ちゃんを連れて赤ちゃん抱っこ体験に参加したいと思った割合(満足度)	%	80(R7.1)	未集計
KPI項目		単位	目標値	現状値																																														
事業内容番号	項目																																																	
	(アウトプット)																																																	
1	赤ちゃん抱っこ体験(ふれあい体験)の参加人数	人	671(R7.1)	279(R6.1)																																														
2	中学校の総合学習へのゲストティーチャーとしての参加率(全8校中8校)	%	100(R7.1)	87.5(R6.1)																																														
	(アウトカム)																																																	
1	実際に乳児と触れ合って乳児に親しみを感じた者の割合(満足度)	%	100(R7.1)	100(R6.1)																																														
1	自分が親になったとき、赤ちゃんを連れて赤ちゃん抱っこ体験に参加したいと思った割合(満足度)	%	80(R7.1)	未集計																																														
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7																																																		
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8																																																		